



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 カンダホールディングス株式会社
コード番号 9059 URL <http://www.kanda-web.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝又 一俊

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 原島 藤壽

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3265-1841

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	17,324	△8.4	628	△49.2	608	△48.0	232	△64.5
22年3月期第3四半期	18,904	0.1	1,238	44.5	1,170	49.8	655	59.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	21.61	—
22年3月期第3四半期	60.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
23年3月期第3四半期	31,372		11,211		35.5	1,035.31
22年3月期	28,833		11,089		38.2	1,024.15

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 11,144百万円 22年3月期 11,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
23年3月期	—	6.00	—		
23年3月期 (予想)				6.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	△4.6	1,150	△23.0	1,100	△22.0	500	△38.3	46.45

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 有
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 11,654,360株 22年3月期 11,654,360株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 889,914株 22年3月期 888,746株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 10,764,945株 22年3月期3Q 10,831,801株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国を中心とした外需の拡大や政府の経済政策等により、一部の企業においては収益改善が見られたものの、設備投資の抑制、雇用環境の低迷等、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

物流業界におきましては、取扱量の減少、燃料価格の高止まり、運賃水準の低落傾向、安全対策の規制強化、環境問題への対応等、取巻く経営環境は厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループの主力業務である物流センター業務代行、流通加工業務に注力し、新規顧客の獲得に向けて努力してまいりました。また、平成22年10月に群馬県邑楽町に当社最大規模となる「北関東物流センター」が完成し、北関東地区の新たな物流拠点を確保いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は、全体的な物流の伸び悩み等により173億24百万円（前年同四半期比8.4%減）となりました。利益面につきましては、売上減に伴う減益等により営業利益は6億28百万円（前年同四半期比49.2%減）、経常利益は6億8百万円（前年同四半期比48.0%減）となりました。四半期純利益につきましては、投資有価証券評価損の計上等もあり2億32百万円（前年同四半期比64.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、86億12百万円（前連結会計年度末は76億73百万円）となり9億38百万円増加しました。現金及び預金の増加2億90百万円、受託現金の増加2億50百万円、受取手形及び営業未収金の増加1億86百万円が主な要因です。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、227億60百万円（前連結会計年度末は211億59百万円）となり16億円増加しました。北関東物流センターの新設に伴う設備投資による増加26億80百万円、減価償却の実施7億90百万円が主な要因です。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、137億23百万円（前連結会計年度末は123億12百万円）となり14億11百万円増加しました。短期借入金の増加14億24百万円が主な要因です。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、64億37百万円（前連結会計年度末は54億31百万円）となり10億6百万円増加しました。長期借入金の増加9億42百万円が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、112億11百万円（前連結会計年度末は110億89百万円）となり1億21百万円増加しました。四半期純利益2億32百万円と配当金1億29百万円の支払いにより利益剰余金が1億3百万円増加したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は2.7ポイント下降し、35.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、投資活動の結果使用した資金22億83百万円を営業活動の結果得られた資金4億73百万円と財務活動の結果得られた資金22億34百万円でまかない、前連結会計年度末に比べ4億24百万円増加し22億55百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果得られた資金は、4億73百万円（前年同四半期比61.1%減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益4億35百万円と減価償却費7億90百万円によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果使用した資金は、22億83百万円（前年同四半期比105.6%増）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入1億33百万円、有形固定資産の取得による支出21億66百万円、貸付金の実行による支出4億89百万円によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果得られた資金は、22億34百万円（前年同四半期比416.3%増）となりました。これは主に短期借入金の純増額16億52百万円、長期借入金による収入17億55百万円、長期借入金の返済による支出10億40百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年11月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、さまざまな不確定要素や今後の業況等により、実際の業績とは異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

(i) 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(ii) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

②表示方法の変更

(i) 前第3四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「補助金収入」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。

なお、前第3四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「補助金収入」は9,700千円であります。

(ii) 「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,258,899	1,968,121
受託現金	2,848,665	2,597,714
受取手形及び営業未収金	2,788,156	2,602,027
商品	3,818	3,051
貯蔵品	12,682	12,143
その他	704,924	500,797
貸倒引当金	△4,897	△10,501
流動資産合計	8,612,250	7,673,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,125,673	5,619,463
土地	12,671,243	12,671,243
その他（純額）	1,462,579	1,242,798
有形固定資産合計	21,259,496	19,533,505
無形固定資産		
投資その他の資産	189,091	187,928
固定資産合計	1,312,153	1,438,346
資産合計	22,760,741	21,159,780
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,354,338	1,388,952
短期借入金	8,025,534	6,600,757
未払法人税等	29,778	329,735
預り金	2,958,702	2,646,418
賞与引当金	68,184	195,441
その他	1,287,428	1,150,937
流動負債合計	13,723,967	12,312,242
固定負債		
長期借入金	4,467,201	3,524,950
退職給付引当金	738,350	704,638
役員退職慰労引当金	382,202	364,351
資産除去債務	24,376	—
その他	825,321	837,097
固定負債合計	6,437,450	5,431,037
負債合計	20,161,418	17,743,280

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772,784	1,772,784
資本剰余金	1,628,008	1,628,008
利益剰余金	8,048,424	7,944,974
自己株式	△330,225	△329,800
株主資本合計	11,118,991	11,015,966
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,925	21,691
繰延ヘッジ損益	△8,431	△12,065
評価・換算差額等合計	25,493	9,625
少数株主持分	67,088	64,262
純資産合計	11,211,573	11,089,854
負債純資産合計	31,372,991	28,833,135

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業収益	18,904,696	17,324,238
営業原価	16,634,161	15,711,895
営業総利益	2,270,534	1,612,343
販売費及び一般管理費		
役員報酬	208,004	225,415
給料及び手当	282,149	273,836
賞与引当金繰入額	7,539	5,912
退職給付費用	10,789	8,161
役員退職慰労引当金繰入額	17,381	18,808
貸倒引当金繰入額	1,979	—
その他	504,484	451,367
販売費及び一般管理費合計	1,032,328	983,503
営業利益	1,238,205	628,839
営業外収益		
受取利息	4,306	4,769
受取配当金	14,569	18,500
補助金収入	—	18,701
その他	39,332	36,423
営業外収益合計	58,208	78,394
営業外費用		
支払利息	110,804	95,092
その他	15,533	3,506
営業外費用合計	126,338	98,599
経常利益	1,170,075	608,635
特別利益		
固定資産売却益	2,769	3,377
その他	708	66
特別利益合計	3,478	3,443
特別損失		
固定資産除売却損	12,337	14,632
減損損失	—	13,693
投資有価証券評価損	—	129,877
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	18,735
その他	—	114
特別損失合計	12,337	177,054
税金等調整前四半期純利益	1,161,216	435,024
法人税等	499,349	199,565
少数株主損益調整前四半期純利益	—	235,458
少数株主利益	6,252	2,826
四半期純利益	655,614	232,632

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,161,216	435,024
減価償却費	804,351	790,248
減損損失	—	13,693
投資有価証券評価損益(△は益)	—	129,877
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,270	△6,386
受取利息及び受取配当金	△18,875	△23,270
支払利息	110,804	95,092
固定資産除売却損益(△は益)	9,567	11,255
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	18,735
売上債権の増減額(△は増加)	△157,982	△186,129
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,688	△1,305
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,062	△34,614
預り金の増減額(△は減少)	58,589	61,333
その他	△293,036	△250,566
小計	1,656,531	1,052,988
利息及び配当金の受取額	19,027	23,385
利息の支払額	△106,208	△93,178
法人税等の支払額	△354,023	△510,022
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,215,327	473,172
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200	—
定期預金の払戻による収入	7,841	133,500
有形固定資産の取得による支出	△1,114,092	△2,166,424
有形固定資産の売却による収入	19,544	10,725
無形固定資産の取得による支出	△42,997	△34,834
投資有価証券の取得による支出	△2,131	△2,190
貸付金の実行による支出	△13,190	△489,630
貸付金の回収による収入	36,679	275,727
その他	△2,772	△10,232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,111,318	△2,283,358
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,355,000	1,652,500
長期借入金による収入	1,645,000	1,755,000
長期借入金の返済による支出	△2,332,369	△1,040,472
リース債務の返済による支出	△3,982	△2,593
自己株式の取得による支出	△121,750	△425
自己株式の売却による収入	161	—
配当金の支払額	△109,298	△129,545
財務活動によるキャッシュ・フロー	432,762	2,234,463
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	536,771	424,277
現金及び現金同等物の期首残高	4,229,529	1,831,614
資金の範囲の変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,324,892	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,441,408	2,255,892

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。